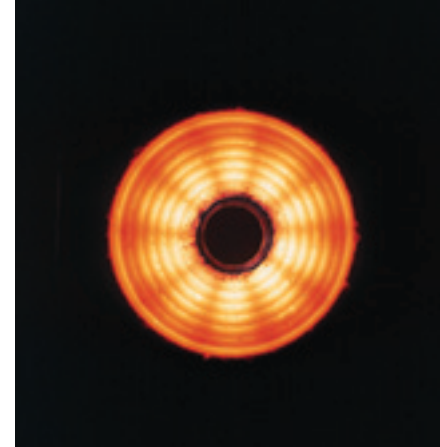


ラジアントカップバーナ

RC-5K RC-15K



1. 特長

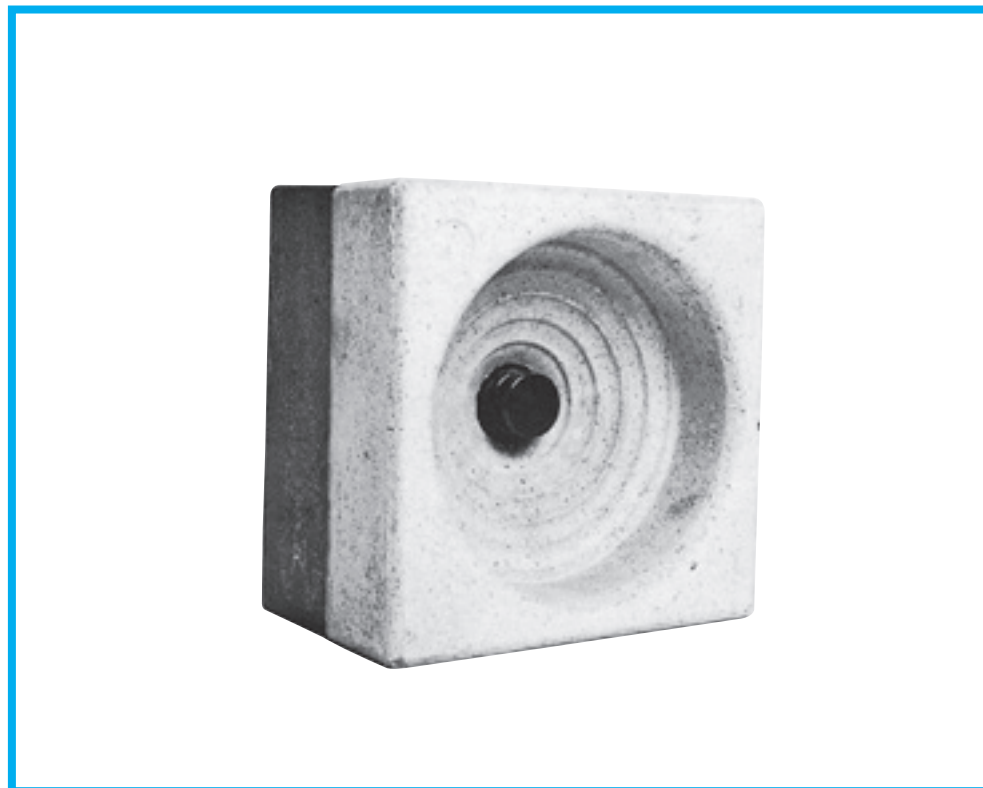
- ・高い放射率を有するバーナである。
- ・炎が、バーナタイル面で完全燃焼するので、近接加熱ができる。
- ・バーナ自体が炉壁面を構成するのでコンパクトな炉になる。

2. おもな用途

- ・鋼の焼入れ
- ・非鉄金属の加熱

3. 取扱上の注意点

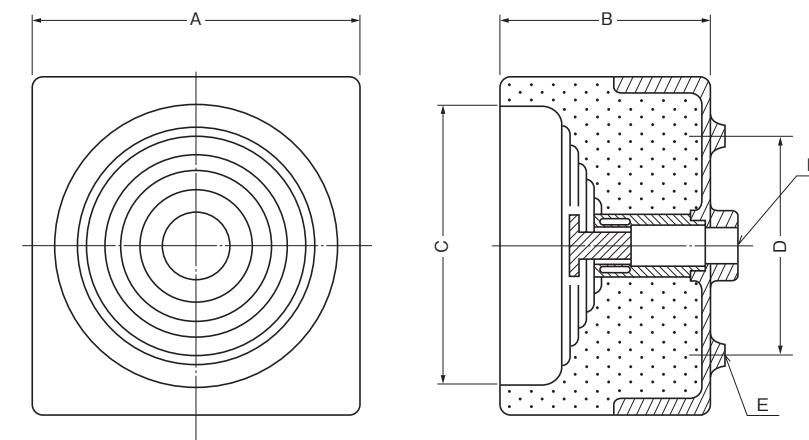
- ・ミキサからバーナまでの配管の圧力損失は、できるだけ小さくし、ミキサとバーナの間にはコックを入れないこと。
- ・データ1およびデータ2で示す限界値以下のガス量では使用しないこと。



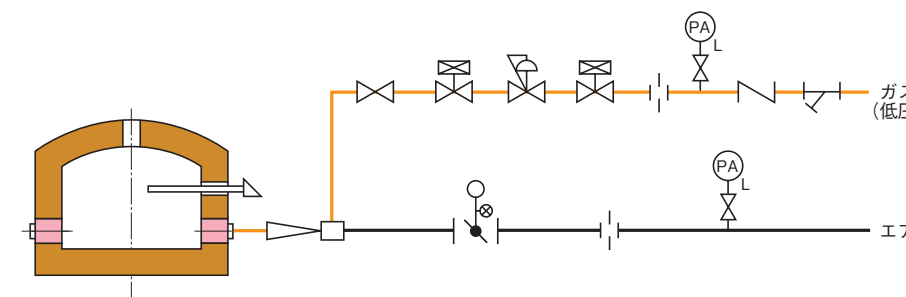
●仕様

器種	RC-5K	RC-15K	備考	
適用ガス	13A		6C仕様あり	
定格燃焼量(kW)	4.5	14	低位発熱量	
標準ガス量(m ³ /h)	0.4	1.2		
標準混合ガス圧力(kPa)	1.2	1.7		
外形寸法	A (mm)	□115	□230	
	B (mm)	115	150	
	C (mm)	φ80	φ190	
	D (mm)	□85	□150	
取付寸法	E (取付ボルト穴)	4-M5	4-M8	タップ
接続径	F (混合ガス)	1/2	3/4	Rc
ターンダウン	2:1			

外形図



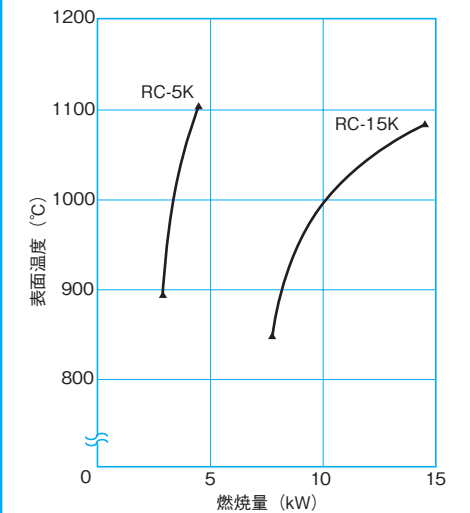
●フローシート (ラジアントカップバーナを使用した焼入炉)



設計例

上図に示すような焼入炉では、バーナをできるだけ炉床近くに取り付け、排気孔は上部に設ける。また、制御は単にエア流量の調節だけでよい。

(データ1)
表面温度と燃焼量の関係



(データ2)
混合気圧力と燃焼量の関係

